

東日本大震災被災者支援金贈呈に対するお礼状

連合山形は東日本大震災後、被災地へのボランティア派遣をはじめ支援カンパなどによる支援カンパの一部を避難者（子ども）を受け入れている「認可外保育施設」県内14施設に贈呈いたしました。

贈呈日は、9月3日新庄地区 9月13日山形地区・酒田地区 9月20日置賜地区 9月24日鶴岡地区で行いました。

贈呈に対し御礼の手紙を頂いておりますので紹介いたします。



贈呈施設よりの御礼の手紙

ひまわり保育園 様より

平成 25 年 9 月 20 日

日本労働組合総連合会山形県連合様

ひまわり保育園
園長 佐々木裕美

台風一過で空がぐっと秋めいてまいりました。皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

先日は沢山の方々の温かいお心のこもった被災者支援金を頂きまして有難うございました。認可園に入園されたお子さんには様々な支援がある中、認可外保育所に入園されたお子さんには何の支援もないという現実にも力不足を感じさせられておりました。そんな折連合山形さんが認可外保育所に目を向けて下さった事はとても嬉しく有難く、私どものこれからの頑張っていく力にもなりました。自分たちに出来る事は精一杯して行こうと職員一同更に気持ちを引き締めた所です。

頂きました支援金をどのように使わせて頂こうか色々考えました。やはり被災地から新庄市に避難してきて、ひまわり保育園に通園していた三名のお子さんにお届けするのが一番良いのでは…と思いました。連合山形さんの皆さんから頂いた心こもった支援金であることをしっかりとお伝えし、早速お届けいたしました。とても喜んで頂け、有難く感謝致し大切に使用させていただきます。子供達のこれからの成長に必要な事に使わせて頂く事と思います。本当に有難うございました。

朝晩の寒さに新庄の厳しい冬が近づいている事を感じるこの頃ですが、皆様方の益々のご健康とご健勝を心よりお祈り致し御礼とさせていただきます。

子供の園 様より

拝啓 秋も深まり、日暮しも早く感じられる頃となりました。時下ますますご建勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは、連合山形様より「震災による県内避難者の就労支援」という事で組合員の皆様による募金を贈呈して頂いて大変感謝申し上げます。

さっそく、園といたしまして大切な募金を子どもたちに活用させて頂きましたので、今度ご報告と写真を同封させて頂きます。

購入物品

ユニット型 畳

アニマルカーペット

今後とも貴団体様のご発展とご繁栄をお祈りいたしまして、お礼を申し上げます。

平成25年 10月4日

子供の園 櫻田代名美

拝啓

朝夕の風が変わり、秋を感じる季節となりました。
貴連合会におかれましては、増々ご清栄のことと、
お喜び申し上げます。

さて、先日は組合員皆様の暖かい支援金を
頂戴致しまして、誠にありがとうございます。

思いがけない事で大変恐縮しております。

当園に通園しております浪江からの姉妹は、
「パパのお家にお泊りするんだ」と、先日の連休に
福島で頑張っている父親に会いに行ってきました。
そして、楽しかったと晴れやかな顔で帰って参りました。
家族が別々に暮らすという事は、お母さんはもちろんの
事、子供達にとっては、心の成長に大きな影響があります。
いつまで続くかわからない不安な生活、故郷を失うと
いう悲しさ、子供達から笑顔を見失わせてはいけな
いと痛切に思われます。

今、子供達はあと〇日寝たが運動会だと楽しみに
練習をしております。避難している子供達も家族
の方も、みんなと同じように楽しい思い出になったら良い
なと思っております。

先日、今年の春に転勤されたお父さんと子供さんが

遊びに来てくれた時に、連合山形さんのお話になり
ました。何とその方は半年ぐらいでしようか、こちらでお世
事をされたとの事、会長さんをよくご存知でした。

加藤さんとおっしゃる方です。いろいろお話をお聞
きし、連合山形さんの活動を知る事ができました。

いただきました支援金は、子供達の為に、大切に遣わ
せていただきます。本当にありがとうございます。

これから秋が深まって参ります。くれぐれもお体を大切に
なされ、増々ご活躍されますようお祈り申し上げます。

御礼が遅くなりました事、お許し下さいませ

敬具

左藤克子

連合山形様

H25.9.26